

# えびのの

れ き し ね ん ぴ よ う

# 歴史年表



し れ き し み ん ぞ く し り よ う か ん  
えびの市歴史民俗資料館

| 時代                        | 年代           |      | 主な出来事  | 目次<br>(ページ) |
|---------------------------|--------------|------|--|-------------|
|                           | 元号           | 西暦   |  |             |
| 旧石器時代<br>~1万5000年前        | 34万年前        |      | 加久藤カルデラができる                                      | 1           |
|                           | 30万~10万年前    |      | 栗野岳など古い火山ができる                                    |             |
|                           | 10万年前~       |      | 白鳥山、飯盛山、韓国岳など新しい火山ができる                           |             |
|                           | 2万8000年前~    |      | 古代人が住み始める<br>ナウマンゾウの歯の化石発見(えびの市杉水流地区)<br>川内川ができる |             |
|                           | 2万~1万5000年前  |      | 八幡ヶ丘遺跡でナイフ形石器が出土                                 |             |
| 縄文時代<br>~約3000年前          | 10000~3000年前 |      | 遺跡より土器や竪穴住居跡が出土                                  | 2           |
| 弥生時代<br>~3世紀中ごろ           | 弥生時代後期       |      | 稲作(陸稲・水稲)が始まる<br>遺跡より土器や花弁状住居跡が出土                |             |
| 古墳時代<br>3世紀後半~7世紀前半       |              |      | 地下式横穴墓から鉄製の甲や青、剣などが出土                            | 3           |
| 飛鳥時代 592~                 |              |      | 真研駅が設置された(通信伝達のための伝馬(駅馬)が停まる駅)                   | 4           |
| 奈良時代 710~                 |              |      | 8世紀後半蓮華寺跡(西諸最古の寺院)から火葬骨壺が出土                      |             |
| 平安時代 794~                 | 延暦14年        | 795  | 真幸院司の設置(租税の稲を徴収する役所で真研駅付近に設けられる)                 |             |
| 鎌倉時代<br>12世紀後半~           |              |      | 馬関田庄、吉田庄、真幸院、の3つの領地があった                          | 5           |
| 室町時代<br>1336~             | 正中2年         | 1325 | 川北村(東川北)の彦山寺に板碑建立される                             |             |
|                           | 貞和元年         | 1345 | 北原兼幸が初代真幸院司となる                                   |             |
| 室町時代<br>(戦国時代)<br>1467ごろ~ | 永禄7年         | 1564 | 島津忠平(義弘)飯野城主となる                                  | 6           |
|                           | 元亀3年         | 1572 | 木崎原合戦で島津軍が伊東軍に勝利する                               |             |
| 安土桃山時代<br>1573~           | 天正4年         | 1576 | 義弘の三男・家久(忠恒)が加久藤城で誕生。家久はのちに初代薩摩藩主となる             |             |
|                           | 天正5年         | 1577 | 義弘長男(鶴寿丸)の供養碑を飯野地頭館に建てる。銀杏樹を植栽                   |             |
|                           | 天正5年         | 1577 | 義弘、吉田温泉の鹿の湯に湯権現社を建てる                             |             |
|                           | 天正18年        | 1590 | 義弘は飯野城から栗野の松尾城へ移る                                |             |

| 時代            | 年代    |                             | 主な出来事                           | 目次 |
|---------------|-------|-----------------------------|---------------------------------|----|
|               | 元号    | 西暦                          |                                 |    |
| 江戸時代<br>1603～ |       |                             | 江戸時代初期 加久藤峠に榎田(求麻口)番所あり         | 7  |
|               | 元禄16年 | 1703                        | 奈良東大寺大仏殿の虹梁 白鳥山より巨木(赤松2本)を搬送    |    |
|               | 正徳3年  | 1713                        | 加久藤湯田の川内川に堂本井堰ができる。真幸の水田を潤す     |    |
|               | 享保9年  | 1724                        | 加久藤中島に田の神像(神官型)が建てられる           |    |
|               | 享保17年 | 1732                        | 飯野に享保水路ができる。飯野原田の水田を潤す          |    |
| 明治時代<br>1868～ | 明治元年  | 1868                        | 神仏分離令により薩摩藩は廃仏毀釈を行う             | 8  |
|               | 明治5年  | 1872                        | 吉田郷と馬関田郷を合併して真幸郷となる             |    |
|               | 明治5年  | 1872                        | 地頭仮屋を教室として飯野・加久藤に郷校開校           |    |
|               | 明治6年  | 1873                        | 吉田郷と馬関田郷の中央に位置する「風戸」に真幸の郷校開校    |    |
|               | 明治7年  | 1874                        | 西郷隆盛 白鳥温泉へ湯治に来る                 |    |
|               | 明治7年  | 1874                        | 加久藤郵便役所(郵便局)ができる(えびのでも最も早く開局)   |    |
|               | 明治10年 | 1877                        | えびのは西南戦争の戦場となり、人家や学校など600戸を焼失する |    |
|               | 明治16年 | 1883                        | 宮崎県の設置(再置)                      |    |
|               | 明治22年 | 1889                        | 飯野村・加久藤村・真幸村が誕生                 |    |
|               | 明治27年 | 1894                        | 日清戦争に飯野・加久藤・真幸の3村からも出征          |    |
| 明治33年         | 1900  | 西内堅に鉄の精錬所を建設する              | 9                               |    |
| 明治38年         | 1904  | 日露戦争に飯野・加久藤・真幸の3村からも出征      |                                 |    |
| 明治41年         | 1908  | 大河平のフランス山で暴動事件起こる(本県初の労働争議) |                                 |    |
| 明治44年         | 1911  | 宮崎県内最初の駅・真幸駅が営業を開始(肥薩線)     |                                 |    |
| 明治45年         | 1912  | 加久藤に自転車3台(医者・派出所・役場各1台)あり   |                                 |    |
| 大正時代<br>1912～ | 大正元年  | 1912                        | 吉松～小林間に鉄道が開通する(吉都線)             | 10 |
|               | 大正7年  | 1918                        | スペイン風邪が大流行し、死者が多くでる             |    |
|               | 大正7年  | 1918                        | 水力発電所(真幸水力電気株式会社)営業を開始する        |    |
|               | 大正7年  | 1918                        | 電灯が昌明寺と西川北に点灯される                |    |
| 大正9年          | 1920  | 京町二日市が始まる                   |                                 |    |

| じだい<br>時代                | ねんだい<br>年代       |            | おも できごと<br>主な出来事          | もくじ<br>目次 |
|--------------------------|------------------|------------|---------------------------|-----------|
|                          | げんごう<br>元号       | せいれき<br>西暦 |                           |           |
| しょうわじだい<br>昭和時代<br>1926～ | しょうわ ねん<br>昭和 3年 | 1928       | めがね橋完成                    | 11        |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和 9年 | 1934       | 霧島山が国立公園に指定される            |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和16年 | 1941       | 太平洋戦争始まる(昭和20(1945)終戦)    |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和24年 | 1949       | 宮崎交通が一般乗合バスの運行を開始         |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和27年 | 1952       | 真幸町内に普通乗用車2台              |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和29年 | 1954       | 有線放送が始まる                  | 12        |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和35年 | 1960       | 宮崎県でテレビ放送始まる              |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和40年 | 1965       | 宮崎県立飯野高等学校 創立             |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和41年 | 1966       | 3町(飯野・加久藤・真幸)が合併 「えびの町」誕生 |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和41年 | 1966       | 矢岳高原が県立公園に指定(矢岳高原県立自然公園)  |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和43年 | 1968       | えびの地震が起こる                 |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和44年 | 1969       | えびの町学校給食センター開設            |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和45年 | 1970       | 「えびの市」誕生                  |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和46年 | 1971       | えびの電報電話局開局、市内電話ダイヤル式となる   | 13        |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和47年 | 1972       | まさき山津波発生                  |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和49年 | 1974       | えびの市の市章制定                 |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和53年 | 1978       | 国道221号線に「えびのループ橋」が開通      |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和53年 | 1978       | 市の木「きりしまあかまつ」市の花「えびね」を制定  |           |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和56年 | 1981       | 上水道の給水が市内全域に開始される         | 14        |
|                          | しょうわ ねん<br>昭和56年 | 1981       | 陸上自衛隊えびの駐屯地(堀浦) 開設        |           |

| じだい<br>時代                | ねんだい<br>年代       |            | おも できごと<br>主な出来事   | もくじ<br>目次 |
|--------------------------|------------------|------------|--|-----------|
|                          | げんごう<br>元号       | せいれき<br>西暦 |  |           |
| へいせいじだい<br>平成時代<br>1989～ | へいせい ねん<br>平成 2年 | 1990       | しな い えき えきめいかいしよう<br>市内4駅 駅名改称                             | 14        |
|                          | へいせい ねん<br>平成 6年 | 1994       | えびの し みんと しよかん れきし みんぞく しりょうかん かいかん<br>えびの市民図書館・歴史民俗資料館 開館 |           |
|                          | へいせい ねん<br>平成 7年 | 1995       | きゅうしゅうじゅうかんこうそくじどうしやうぜんせんかいつう<br>九州縦貫高速自動車道全線開通            |           |
|                          | へいせい ねん<br>平成22年 | 2010       | しな い こうてい えき ほっせい<br>市内で口蹄疫が発生                             |           |
|                          | へいせい ねん<br>平成22年 | 2010       | きりしまやま にほん にんてい<br>霧島山が日本ジオパークに認定                          | 15        |
|                          | へいせい ねん<br>平成23年 | 2011       | きりしまやま しんもえだけ ふんか<br>霧島山(新燃岳)噴火                            |           |
|                          | へいせい ねん<br>平成25年 | 2013       | みち えき<br>「道の駅えびの」オープン                                      |           |
|                          | へいせい ねん<br>平成30年 | 2018       | いおうやまふんか<br>硫黄山噴火  |           |
|                          |                  | さくいん<br>索引 | 16-17  |           |

## 【えびの市の位置と面積】

みやざきけん さいせいたんぶ いち とうけい ど ふん ど ふん ほくい ど ふん びょう  
宮崎県の最西端部に位置し、およそ東経130度42分～130度59分、北緯31度55分49秒～  
32度7分49秒の間に位置し、南北約22 キロメートル、東西約26 キロメートルで、南か  
ら北へ向かってだんだん広くなり、扇の形をしています。総面積は約283平方キロメー  
トルあります。(参考文献:『えびの市史 上巻』第1編えびの市の自然 第1章位置・面積)



きゅうせっきじだい やく まん ねんまえ  
**旧石器時代（～約1万5000年前）**

まんねんまえ かくとう  
・ **34万年前 加久藤カルデラができる**



やたけこうげん きりしまやま かくとうぼんち  
矢岳高原からのながめ（霧島山と加久藤盆地）

まんねんまえ し ゆうすいちよう ふく ちいき だいき  
34万年前、えびの市と湧水町を含む地域に大規模な噴火が起きました。数か所から大規模な噴火が起こったのではないかとわれています。この大噴火により、大地が陥没し窪地ができました。この窪地の地形を「加久藤カルデラ」といいます。（参考文献：『史談会誌「えびの」46号』加久藤盆地のなりたち）

まん まんねんまえ くりのだけ やく まんねんまえ ふる かざん  
・ **30万～10万年前 栗野岳（約20万年前）など古い火山ができる**

（参考文献：『史談会誌「えびの」46号』加久藤盆地のなりたち）

まんねんまえ しらとりやま やく まんねんまえ いいもりやま やく まんねんまえ からくにだけ やく まん せんねんまえ  
・ **10万年前～ 白鳥山（約10万年前）、飯盛山（約3万年前）、韓国岳（約1万7千年前）**

あたらし かざん  
**など新しい火山ができる**

（参考文献：『史談会誌「えびの」46号』加久藤盆地のなりたち）

まん ねんまえ こだいじん す はじ  
・ **2万8000年前 古代人が住み始める**

（参考文献：えびの市歴史民俗資料館 館内展示資料）

せいぞく  
・ **ナウマンゾウが生息**



すぎづる ちく ほっけん は かせき  
杉水流地区で発見されたナウマンゾウの歯の化石  
げんざい みやざきけんりつはくぶつかん しょぞう  
（現在、宮崎県立博物館に所蔵されています）

きゅうせっきじだい ひとひと おおがた どうぶつ たいせつ  
旧石器時代の人々にとって、大型の動物は大切な栄養源となっていました。えびの市ではナウマンゾウの歯の化石が平成17年9月に杉水流地区の川内川河川敷で発見されました。ナウマンゾウは約40～2万年前まで東アジアに生息していたゾウの一種で、肩までの高さは2.5m～3mありました。（参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第106 ナウマンゾウの化石」）

しゅりようさいしゅう いどうせいかつ  
・ **狩猟採集のため移動生活をする**



ひがしかわきたちまきいせき がたせつき せつき  
東川北内牧遺跡のナイフ形石器。この石器の大きさは、長さ40mm、幅14mm、厚さ7mmです。

（参考文献：えびの市埋蔵文化財調査報告書第41集『東川北地区遺跡群』2005年宮崎県えびの市教育委員会）

ひとひと やせい どうしよくぶつ しゅりよう さいしゅう どうぶつ  
人々は野生の動植物を狩猟・採集するために動物の群れを追って移動しながら生活をしていました。大型動物は打製石器を使い  
しゅうだん しゅりよう  
集団で狩猟をしていました。



きゅうせきじだい  
**旧石器時代**

せんだいがわ  
**・川内川ができる**



せんだいがわ すいげんち くまもと しらがだけ しらがだけ  
 川内川の水源地は熊本県の白髪岳です。白髪岳から  
 くるそんけいこくなが かくとうぼんち かごしまけんゆすい  
 狗留孫溪谷を流れて、加久藤盆地から鹿児島県湧水  
 ちょう せんだいへいや ひがし かい そそ  
 町、川内平野、東シナ海へと注いでいきます。  
 (参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第43号 川内川の由来」)

かくとう あまみず かくとうこ  
 加久藤カルデラに雨水がたまり、加久藤湖となりまし  
 た。その後、<sup>①</sup>火山の噴火で火砕流や火山灰が積もって  
 みずうみ あさ みずうみ みず  
 湖は浅くなりました。およそ2万年前、湖の水は  
 ゆすいちょう よしまつ くりの あいだふきん けっかい なが だ  
 湧水町の吉松と栗野の間付近が決壊し流れ出し、  
 かくとうぼんち せんだいがわ  
 加久藤盆地と川内川ができました。

きりしまかざん あいらかざん さくらしま かごしまわん  
 ①霧島火山、始良火山（桜島がある鹿児島湾）  
 (参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第153号 加久藤カルデラ」)

じょうもんじだい やく ねんまえ  
**縄文時代（～約3000年前）**

ねんまえ とき つか いてい ぼしよ す  
**・15000～3000年前 土器を使い、一定の場所に住む**

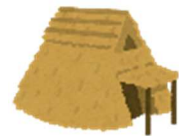


じょうもんじだいちゅうき とき まえ  
 縄文時代中期の土器（5000～4000前）



かみたしろいせき じょうもんじだいちゅうき こうき  
 上田代遺跡（縄文時代中期～後期）  
 たてあなじゅうきよ ちそう  
 竪穴住居の地層

なが ひょうがき お きこう じよじよ おんだんか どうしよくぶつ  
 長い氷河期が終わると、気候は徐々に温暖化し、動植物が  
 ほうふ ひとびと き み しょくようしょくぶつ さいしゅ しゅ  
 豊富になってきます。人々は木の実や食用植物の採取を主  
 とし、狩猟と漁猟で補う生活をしていました。生活が豊か  
 になると、しゅうらく はしだいに おお ちよ  
 厚みのある縄目模様の土器が作られ、食糧の貯蔵や煮炊きができるよ  
 うになりました。また、じめん あさ  
 地面を浅く掘ってその上に屋根をかけた竪穴住居  
 に住んでいました。



たてあなじゅうきよ  
 竪穴住居

(参考文献：えびの市歴史民俗資料館 館内展示資料)

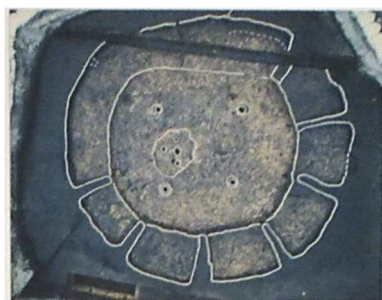
やよいじだい せいきなか  
**弥生時代（～3世紀中ごろ）**

やよいじだいこうき いなさく りくどう すいとう はじ  
**・弥生時代後期 稲作（陸稲・水稲）が始まる**



やよいどき いしほうちよう いね ほさき か  
 弥生土器 石包丁（稲の穂先を刈り取る道具）

やよいじだいこうき いなさく ふきゅう うわえ うばたけ  
 弥生時代後期には稲作が普及したようで、上江・芋畑・  
 ひがしかわきたち く いしほうちよう しゅつど おな  
 東川北地区などで石包丁が出土しています。また、同  
 じく うわえ うばたけ いいのえきまえ ちく たてあなじゅうきよあと  
 上江・芋畑・飯野駅前地区などでは竪穴住居跡  
 (花弁状住居跡) が発見されています。土器は、みやざき  
 ② 平野部・熊本・鹿児島からの影響がみられ、えびの市が  
 古くから文化の交流拠点であったことを物語っていま  
 す。(参考文献：えびの市歴史民俗資料館 館内展示資料)



もとしほらいせき かべんじょうじゅうきよあと ちよつけい  
 本地原遺跡の花弁状住居跡（直径7m）

うえ み はな かたち  
 ②上から見ると花びらの形をしている。  
 じゅうきよ そとがわ じやま ほ のこ かべ  
 住居の外側に地山を掘り残した壁によ  
 って間仕切りされた空間を多数設けてい  
 る。(参考文献：『宮崎県の歴史 県史45』)



こぶん つく ちかしきよあなほ  
・古墳が造られる (地下式横穴墓など)



いいのそんこぶん なか つうしやう せんじんづか  
飯野村古墳の中のひとつで、通称「千人塚  
古墳」(えびの市原田地区) 円墳  
〈県指定史跡〉

せいぎこうはん きんきちほう ぜんほうこうえんぶん つく はじ  
3世紀後半、近畿地方に前方後円墳が造られ始め、  
だいおうのシンボルとして各地に普及していきま  
す。南九州では主として、前方後円墳は平野部  
に、地下式横穴墓は宮崎平野と大淀川流域と  
か かくとうぼんち おおくちぼんち きもつきへいや いたいしづみせつかん  
加久藤盆地・大口盆地・肝属平野に、板石積石棺  
ぼ せんだいがわりゆういき ぶんぶ  
墓は川内川流域に分布しています。えびの市で  
は 600基以上の古墳が発見されており、地下式  
よこあなほ おお ほくつ  
横穴墓が多く発掘されています。平成24年9月6  
か みやざきけんしまうちちかしきよあなほぐんしゆつどひん くにしてい  
日「宮崎県島内地下式横穴墓群出土品」は国指定  
じゅうようぶんかざい  
重要文化財になりました。

(参考文献：鹿児島大学総合研究博物館『九州南部における古墳時代鉄器の基礎的研究』  
2014/『えびの市の文化財』)



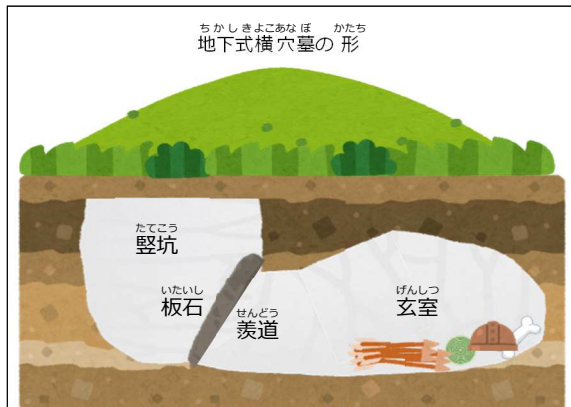
こまきぼるこぶん しやうわえちく ちかしきよあなほ  
小木原古墳(えびの市上江地区) 地下式横穴墓  
〈市指定史跡〉直径 10m



しまうちけんしてい ごうぶん ししまうち  
島内県指定1号墳(えびの市島内) 推定直径 23m



↑ みやざきけんしまうちちかしきよあなほぐんしゆつどひん だいひやうてき  
宮崎県島内地下式横穴墓群出土品(代表的なもの)  
こぶんじだいちゆうき こうき せいぎ いぶつ  
古墳時代中期～後期(5～6世紀)の遺物。  
しまうちちかしきよあなほ しゆつどひん いそんじやうたい りやうこう  
島内地下式横穴墓の出土品のうち、遺存状態の良好な  
1029点が国の重要文化財に指定され、本市で所蔵して  
います。〈国指定重要文化財〉



ちかしきよあなほ しゆつど てつせいひん いそんじやうたい ぼ  
地下式横穴墓から出土する鉄製品の遺存状態が良いのは、  
みかつへい じやうたい ざっきん げんしつ おんど  
密閉された状態で雑菌がないことです。また、玄室の温度は  
いちねん とお あんてい しつど たか  
一年を通して 14～15℃ほどで安定しており湿度もとても高  
く、99%です。



まさきえき せっち つうしんでんたつ てんま はゆま と えき  
・真研駅が設置される (通信伝達のための伝馬 (駅馬) が停まる駅)



たいか かいしん ねん みことのり うまや  
大化の改新 (645年) の 詔 に 駅家と  
③  
てんま たいほうりつりょう  
④ 伝馬をおくことが定められ、大宝律令  
⑤  
(701年) が 確立 しました。 駅家は 街道  
30里 (約16 km) ごとに 駅をおき馬を備  
えたものでしたが、10世紀以後は 衰退  
しました。「延喜式」(927年制定) によ  
⑥  
ると、日向国府 (西都) から、垂柳 (綾)、  
野後 (野尻)、夷守 (小林) を通って真研  
(えびの) を 経由して 西海道や 薩摩  
国府へ 合流 したようです。

(参考文献: えびの市歴史民俗資料館 館内展示資料)

てんのう つうしんりょう うま おさかべしんのう  
③ 天皇のおおせ。 ④ 通信用の馬 ⑤ 刑部親王・  
ふじわらのふひと へんざん へんざん しこう  
藤原不比等らによって編纂され、ただちに施行さ  
れた律6巻・令112巻 ⑥ 平安初期の禁中 (皇居・  
きゅうちゅう ねんじゅうきしき せいと こと かんぶん しる  
宮中) の年中儀式や制度などの事を漢文で記す。  
(引用: 『広辞苑第三版』)

まさきえき  
〈真研駅はどこにあったのか?〉

うわえ ほうこうじあと はいつかあざまつき えき すいてい  
上江の法光寺跡、もしくは灰塚字真崎に駅があったのではないかと推定されています。い  
づれも 確証 はありません。



ぬのめがわら へいあんじだいいぜんき  
布目瓦 (平安時代前期) が  
うわえ ほうこうじあと ひょうさい  
上江の法光寺跡で表 採され、  
しくつちようさ しょうわ ねん がつ  
試掘調査が昭和60年12月に  
おこな じいんあと  
行 われましたが、寺院跡か  
えき やくしよあと はあく  
駅・役所跡なのかは把握で  
きていません。

ほうこうじあと ひょうさい ぬのめがわら かわら (参考文献: えびの市埋蔵文化財  
法光寺跡で表 採された布目瓦 (瓦 調査報告書第1集「えびの市遺  
つく かつた うえ もち ぬの のつこ 跡詳細分布調査報告書」1985)  
を作るとき型の上に用いた布が 残っ  
たもの。(引用: 『広辞苑第三版』)



へいせい ねんどはつちちようさ  
平成29年度発掘調査  
はいつかあざまつき へいあん  
で、灰塚字真崎に平安  
じだい おも かんどうあと  
時代と思われる官道跡  
が検 出 されました。

(参考文献: 平成29年度発掘調査  
えびの市官道跡)

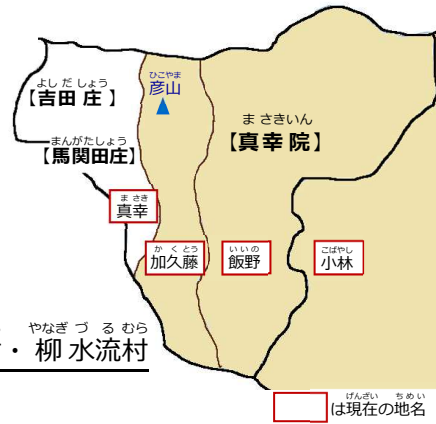
かんどうあと ほつちつじようきよう  
官道跡 発掘 状況

かまくらじだい せいきごうはん  
**鎌倉時代 (12世紀後半～)**

まんがたしやう よしだしやう まさきいん りやうち  
**・馬関田庄・吉田庄・真幸院、3つの領地がある**

けんきゆうずてんちやう けんきゆう ねん さくせい けんちろく  
 『建久図田帳』(建久8年(1197)作成の検地録)より

まんがたしやう よしだしやう まさきいん りやうしゆ こめ  
 馬関田庄、吉田庄、真幸院では、領主に米などを  
 おさ とち かんり  
 納めていました。その土地などの管理をしていたの  
 じとう  
 は地頭でした。地頭…徴税・警察・裁判を司る役人



まんがたしやう めんせき ちやう はんい かわきたむら しまうちむら うらむら やなぎづ むら  
**【馬関田庄】面積：50町 範囲：川北村・島内村・浦村・柳水流村**  
 じとうかりや かわきたむら いま にしかわきた  
 地頭仮屋：川北村(今の西川北)

よし だ しやう めんせき ちやう はんい つるむら むかえむら かめさむら おかまつむら うちたてむら しょうみょうじむら  
**【吉田庄】面積：30町 範囲：水流村・向江村・亀沢村・岡松村・内堅村・昌明寺村**  
 じとうかりや うちたてむら  
 地頭仮屋：内堅村

ま さき いん めんせき ちやう はんい こばやし いいの かくとう  
**【真幸院】面積：320町 範囲：小林・飯野・加久藤**

(参考文献：『史談会誌「えびの」13号』真幸の史蹟(2) 馬関田郷史/『えびの市史 上巻』第4編中世 第1章鎌倉時代 第3節建久図田帳) ※1町=9,900㎡

ねん しょうちゆう ねん かわきたむら ひがしかわきた ひこやまでら いたびごんりゆう  
**・1325年 正中2年 川北村(東川北)の彦山寺に板碑建立される**



みぎ いたび ひぶん じ ひだり  
 右の板碑の碑文は176字、左の  
 副碑は碑文が69字刻まれています。  
 けんしていゆうけいぶんかざい  
 <県指定有形文化財>

ちやうこしゆうらい きとうそら かつやく かくねんりっし かいきくよう  
 蒙古襲来の祈禱僧として活躍した覚然律師33回忌供養のために  
 ごんりゆう ひぶん なが ないよう ふか かくちやう たか  
 建立されました。碑文は長く、内容に深みがあり格調の高いこ  
 とで知られています。主碑の高さは225cm、厚さは30cmあります。



いたび ひこやまでらあと しらとりまんぞくじ いんきよじよ  
 板碑のある彦山寺跡は、白鳥満足寺の隠居所  
 と墓地でした。木崎原合戦で名を馳せた光儼  
 上人の墓石、北原民部の供養塔など多くの  
 遺跡があります。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第29日本一の板碑」/『えびの市史 下巻』第8編現代 第5章教育・文化 第3節文化財・社寺)

むるまちじだい ねん  
**室町時代 (1336年～)**

ねん こうえい ねん きたはらかねゆき しょだいま さきいんし  
**・1345年 康永4年 北原兼幸が初代真幸院司となる**

きたはら しきよじやう ねんかん ねん  
**北原氏居城219年間(1345～1564年)**



ちやうぜんじじゆうしよくほせきぐん いいのふもと  
 長善寺住職墓石郡(飯野麓)  
 ししていしせき  
 <市指定史跡>

おうえい ねん まさきいんりやうしゆ だいきたはらのりかね いいのじやう ひがし しちどうがらん  
**応永3年(1396) 真幸院領主5代北原範兼が飯野城の東に七堂伽藍**  
**を建て、明窓和尚を住職にしたのが長善寺の起こりです。長善寺で**  
**日本最古の出版物を出しています。応永17～20年(1410～1412)**  
**出版の禅宗書『碧巖録』と、享祿3年(1530)出版の漢詩作成の**

しゅうばん ぜんしゆうしよ へきがんろく きやうろく ねん しゅうばん かんしきくせい  
**『聚分韻略』です。**(参考文献：『えびの市史 上巻』第4編中世 第1章鎌倉時代 第4節真幸院の統治者/広報えびの「ふるさと散歩 第13 日本最古の出版物を出した長善寺」)

ねん ぶんながんねん よしだしやう まんがたしやう まさきいん へんにゆう  
**・1352年 文和元年 吉田庄と馬関田庄が真幸院に編入される**

(参考文献：『えびの市史 下巻』えびの市史年表)

むろまちじだい せんごくじだい ねん  
**室町時代 (戦国時代 1467年ごろ～)**

ねん ねん ねん しまづただひら よしひろ いいのじょうしゆ きよじょう ねんかん ねん  
 ・ **1564年 永禄7年 島津忠平 (義弘) 飯野城主となる** 居城 26年間 (1564～1590年)



いいのじょうおおてもん  
飯野城大手門

しまづよしひろ だいたかひさ じなん えいろく ねん たかひさ めい  
 島津義弘は、15代貴久の次男で、永禄7年(1564) 貴久の命を  
 う いとうし せいりやく まさきいん まちる か せ だ じょう  
 受け、伊東氏の勢力から真幸院を守るため、加世田城から60  
 にん かしんだん いいのじょう はい かくとうじょう ひろせふじん お  
 人の家臣団とともに飯野城へ入り、加久藤城には広瀬夫人を置  
 き、5男1女が誕生しました。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第55 飯野城と島津義弘」)

ねん げんき ねん き さきぼるがっせん しまづぐん いとうぐん しょうり  
 ・ **1572年 元亀3年 木崎原合戦で島津軍が伊東軍に勝利する**



き さきぼるごせんじょうあと けんしていしせき  
 木崎原古戦場跡 <県指定史跡>

げんき ねん との ごおり さいと じょうしゆいとうよしゆけ たいくん  
 元亀3年(1572) 都於郡(西都) 城主伊東義祐が3000の大軍  
 ま さきいん しはい かくとうじょう せ しつぱい いけじまがわ  
 で真幸院を支配しようと加久藤城を攻めますが失敗し、池島川  
 てったい いいのじょう よしひろ へい ひき き さきぼる いけじま しゅつげき  
 へ撤退します。飯野城の義弘は兵を率いて木崎原(池島)へ出撃  
 すうばい いとうぐん げきせん すえしやうり  
 し、数倍の伊東軍に激戦の末勝利しました。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第55 飯野城と島津義弘」)

あづちもちやまじだい ねん  
**安土桃山時代 (1573年～)**

ねん てんしやう ねん よしひろ さんなん いえひさ ただつね かくとうじょう たんじやう  
 ・ **1576年 天正4年 義弘の三男・家久 (忠恒) が加久藤城で誕生**

いえひさ しよだいさつまはんしゆ  
**家久はのちに初代薩摩藩主となる** (参考文献：『鹿兒島県の歴史 県史46』)

ねん てんしやう ねん よしひろちやうなん つるひさまる くやう ひ いいのじとうやかた た  
 ・ **1577年 天正5年 義弘長男 (鶴寿丸) の供養碑を飯野地頭館に建てる**



いいの げんしていんねんきねんぶつ  
 飯野のイチヨウ <県指定天然記念物>

いちやう しよくさい  
**銀杏樹を植栽**

つるひさまる てんしやう ねん な しやくしよいいの  
 鶴寿丸は天正4年(1576)に亡くなりました。市役所飯野  
 しゅつちやうじよ え ど じ だ い いいのじとうやかた つるひさまる くやう  
 出張所(江戸時代の飯野地頭館)には鶴寿丸を供養するために  
 う 植えたといわれるイチヨウ(樹齢400年以上)があり、樹の下に  
 つるひさまる くやう ひ  
 は鶴寿丸の供養碑があります。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第86 飯野のイチヨウ」)

ねん てんしやう ねん よしひろ よしだおんせん しか ゆ ゆ ぐんげんしや た  
 ・ **1577年 天正5年 義弘、吉田温泉の鹿の湯に湯権現社を建てる**



ゆ ぐんげんしや  
 湯権現社  
 しょうざい しょうみやうじ ゆ もと よしだおんせん  
 所在地：昌明寺 湯の本(吉田温泉)

えいろく ねん がつ しまづよしひろ こばやしじやう こうげき ふしやう よしだ  
 永禄9年(1566)9月、島津義弘は小林城での攻撃で負傷し、吉田  
 おんせん りやうやう きわ こうのう てんしやう ねん  
 温泉で療養して極めて効能がありました。天正5年(1577)  
 よしひろ おんせん ほしゅう ちか ゆ ぐんげんしや ごんりゅう  
 義弘は温泉を補修し、近くに「湯権現社」を建立しました。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第57 島津義弘と湯権現社」)

ねん てんしやう ねん よしひろ いいのじょう くりの まつおじやう うつ  
 ・ **1590年 天正18年 義弘は飯野城から栗野の松尾城へ移る**

よしひろ き さきぼるがっせん ひつがのくに いとうぐん う やぶ さんしゅう さつま おおすみ ひゅうが せいあつ おお  
 義弘は木崎原合戦で日向国の伊東軍を打ち破り、三州(薩摩・大隅・日向)制圧へ大きく  
 ぜんしん ご きゅうしゅう せいはい てんしやう ねん くりの まつおじやう うつ  
 前進し、その後も九州をほぼ制覇しました。天正18年(1590) 栗野の松尾城に移りま  
 ご ど ちやうせんしゅつべい せき はら かつせん えんせい げん な ねん おおすみ か じ き  
 す。その後も2度の朝鮮出兵や関ヶ原の合戦などに遠征し、元和5年(1619) 大隅の加治木  
 しょうがい きやうねん さい と  
 で生涯(享年85歳)を閉じました。(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第55 飯野城と島津義弘」)

えどじだい ねん  
**江戸時代 (1603年～)**

えどじだいいしよき かくとうとうげ えのきだ くまくち ばんしよ  
・江戸時代初期 **加久藤 峠に榎田 (求麻口) 番所あり**



えのきだせきあと けんしていしせき  
榎田関跡<県指定史跡>

さつまはん せきしよ ばんしよ えのきだせきあと くまくち  
薩摩藩では関所のことを番所といい、この榎田関跡は求麻口  
ばんしよ えどしよき けわ かくとうとうげ ひご  
番所とよばれていました。江戸初期に険しい加久藤 峠に肥後  
かいどう ひら ばんしよ さつま ひご あいだ つうこう ひとひと と  
街道が開かれ、この番所は薩摩と肥後の間を通行する人々を取  
り締まる任務を担いました。

(参考文献: 広報えびの「ふるさと散歩 第25 榎田関跡」)

ねん げんろく ねん ならとうだいじだいぶつでん こうりょう しらとりやま きよぼく あかまつ ほん はんそう  
・1703年 **元禄16年 奈良東大寺大仏殿の虹 梁、白鳥山より巨木 (赤松2本) を搬送**



ならとうだいじだいぶつでんこうりょうざいあかまつあと  
奈良東大寺大仏殿虹 梁 材 赤松跡  
きねんひ しらとりじんじや  
記念碑 (白鳥神社)

げんろく ねん なが やく ちよつけいやく ばっさい  
元禄16年 (1703) 長さ約23.6m、直径約1.3m (伐採された  
すんぼう きよだい きりしまやま しらとりじんじやふきん ほんき  
寸法) の巨大なアカマツが霧島山の白鳥神社付近から 2本切り  
だ 8 げつ なら とうだいじ はこ げんざい  
出され、8 か月かけて奈良の東大寺まで運ばれました。現在も  
このアカマツが、世界遺産である東大寺大仏殿の大屋根を支え  
ています。(参考文献: えびの市歴史民俗資料館 館内展示資料)

ねん しょうとく ねん かくとうゆだ せんだいがわ どうほんいぜき まさき すいでん うるお  
・1713年 **正徳3年 加久藤湯田の川内川に堂本井堰ができる。真幸の水田を潤す**



どうほんいぜき ゆだばし  
堂本井堰と湯田橋

しょうとく ねん よしだごむかえむら せんだいがわ しゅすいこう  
正徳3年(1713)吉田郷向江村にあった川内川の取水口を、  
かくとうごうどうほん うつ いぜき もう いらい  
加久藤郷堂本に移し、井堰を設けたものです。以来230  
よねん まんが たごう よしだごう よしまつごう すいでん うるお  
余年、馬関田郷・吉田郷・吉松郷の水田を潤してきました。  
あいつ お すいがい げんざいち いちく へいせい ねん  
相次いで起こる水害のため、現在地に移築され平成8年  
(1996) さいしんしき かどうぜき かんせい  
(1996) 最新式の可動堰が完成しました。

(参考文献: 『史談会誌「えびの」35号』表紙説明)

ねん きょうほう ねん かくとうなかしま た かみぞう しんかんがた た  
・1724年 **享保9年 加久藤中島に田の神像 (神官型) が建てられる**



きょうほう ねん ごんりゅう なかしま ちく  
享保9年(1724)建立 中島地区  
いちばんふるいた かみ  
えびので一番古い田の神

きりしまやま だいふんか おお ひがい あた きょうほうがんねん  
霧島山の噴火で大きな被害を与えたのが、享保元年  
(1716) と翌2年 (1717) の噴火でした。この噴火により、  
たはた じんば じんじや ぶつじ ひがい およ ふんか しず  
田畑や人馬、神社や仏寺にも被害が及びました。噴火を鎮  
めて稲の豊作を願う人々の思いから神官型の田の神さあ  
が誕生したのではないかと云われています。

(参考文献: 『宮崎の田の神像』/ 『史談会誌「えびの」42号』えびのの田の神さあ)

ねん きょうほう ねん いいの きょうほうすいろ いいのはらだ すいでん うるお  
・1732年 **享保17年 飯野に享保水路ができる。飯野原田の水田を潤す**



きょうほうすいろ おこびら くにとうろくゆうけいふんかざい  
享保水路 (大河平) <国登録有形文化財>

いいの ちく とうぶ なが なが あま ようすいろ はば  
飯野地区の東部を流れる長さ 6800m余りの用水路で、幅  
2.1m、深さ 1.0mの水路です。川内川上流の狗留孫狭に  
ふか すいろ せんだいがわじょうりゅう くるそんきょう  
井堰を設けて取水し、その清らかな水は山麓に沿うように  
いぜき もう しゅすい きよ みず さんろく そ  
流下し、飯野平野の水田を潤した後、再び川内川へと注  
ぎます。(参考文献: 広報えびの「ふるさと散歩 第18 享保水路と太鼓橋」)

ねん めいじがねん しんぶつぶんりれい さつまはん はいぶつきしやく おこな  
・1868年 明治元年 神仏分離令により薩摩藩は廃仏毀釈を行う

かみさま ほとけさま おな しんぶつしゅうごう かんが べつ かんが せいふ  
それまで神様と仏様は同じ(神仏習合)という考えでしたが、別なものと考える政府  
の政策が神仏分離令でした。薩摩藩ではこの政策を廃仏毀釈とし、えびのにあるほとんど  
の寺院は廃寺となりました。明治9年(1876)政府は信教自由の法令を施行し、真宗も  
解禁となり説教所の開設や寺院の創設へと発展しました。

(参考文献: 広報えびの「ふるさと散歩 第127 真幸院と廃仏毀釈」/『えびの市史資料集Ⅱ 飯野郷土史仏教編』10 廃仏毀釈)

ふつぽう はい しゃくもん しゃか おし ほうき  
⑦ 仏法を廃し釈尊(釈迦)の教えを放棄すること (引用: 『広辞苑第3版』)

ねん めいじ ねん よしだごう まんが たごう がっぺい まさきごう  
・1872年 明治5年 吉田郷と馬関田郷を合併して真幸郷となる

(参考文献: 『真幸町郷土史』明治以後の真幸)

ねん めいじ ねん じとうかりや きょうしつ いいの かくとう ごうこうかいこう  
・1872年 明治5年 地頭仮屋を教室として飯野・加久藤に郷校開校

(参考文献: 『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第5節学制発布と学校教育)

めいじ ねん よしだごう まんが たごう ちゅうおう いち かざと まさき ごうこうかいこう  
・1873年 明治6年 吉田郷と馬関田郷の中央に位置する「風戸」に真幸の郷校開校

(参考文献: 『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第5節学制発布と学校教育)

ねん めいじ ねん さいごうたかもり しらとりおんせん とうじ く  
・1874年 明治7年 西郷隆盛 白鳥温泉へ湯治に来る



さいごうたかもり しひ  
西郷隆盛の詩碑

めいじ ねん しらとりおんせん さいごうたかもり げつかんたいざい  
明治7年(1874)白鳥温泉に西郷隆盛は3か月間滞在しました。

しんきょう たく へん かんし しひ しらとりおんせんうえゆ  
心境を託した3編の漢詩の詩碑は白鳥温泉上湯にあります。

(参考文献: 広報えびの「ふるさと散歩 第97 文字碑めぐりその2」)

ねん めいじ ねん かくとうゆうびんやくしよ ゆうびんきょく もっと はや かいきょく  
・1874年 明治7年 加久藤郵便役所(郵便局)ができる(えびので最も早く開局)

(参考文献: 『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節 交通・通信)

ねん めいじ ねん せいなんせんそう せんじょう じんか がっこう こ  
・1877年 明治10年 えびのは西南戦争の戦場となり、人家や学校など600戸  
を焼失する



さつぐん かやく せいぞう  
薩軍が火薬を製造したといわれる  
かくとうふもと しよせつば あと  
加久藤 麓の「硝石場」跡

めいじ ねん ねん ねん ぼつぱつ せいなんせんそう にん  
明治10年(1877年)に勃発した西南戦争には、えびのから368人

の若者が従軍し、54人が戦死しました。えびのは薩軍(西郷軍)

と官軍(政府軍)の戦場となり、人家600戸と小学校6校、貴重

な文化財も焼失しました。

(参考文献: 広報えびの「ふるさと散歩 第101 西南戦争とえびの市」)

ねん めいじ ねん みやざきけん せっち さいち  
・1883年 明治16年 宮崎県の設置(再置)

| ねん たい<br>年 代          | いいの かくとう まさき かんかつけん<br>飯野・加久藤・真幸の管轄県 |                               |
|-----------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| めいじ ねん<br>明治4年(1871)  | かごしまけん そく<br>鹿児島県に属する                | みやこのじょうけん かんかつ<br>→都城県の管轄となる  |
| めいじ ねん<br>明治6年(1873)  | みやこのじょうけん はい<br>都城県は廃される             | みやざきけん<br>→宮崎県となる             |
| めいじ ねん<br>明治9年(1876)  | みやざきけん はい<br>宮崎県は廃される                | かごしまけん がっぺい<br>→鹿児島県に合併される    |
| めいじ ねん<br>明治12年(1879) | くんせい し<br>郡制が布かれる                    | かごしまけん ちろかたぐん<br>→鹿児島県諸県郡となる  |
| めいじ ねん<br>明治16年(1883) | みやざきけん さいち<br>宮崎県が再置される              | みやざきけんきたちろかたぐん<br>→宮崎県北諸県郡となる |
| めいじ ねん<br>明治17年(1884) | とうざい きた さんちろかたぐん<br>東西、北の三諸県郡とする     | みやざきけんにしちろかたぐん<br>→宮崎県西諸県郡となる |

(参考文献: 『史談会誌「えびの」35号』宮崎県再置常時の県勢と行政)

ねん めいじ ねん いいのそん かくどうそん まさきそん たんじょう  
・ 1889年 明治22年 飯野村・加久藤村・真幸村が誕生

(参考文献:『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第1節市町村制の施行)

ねん めいじ ねん にっしんせんそう いいの かくどう まさき そん しゅっせい  
・ 1894年 明治27年 日清戦争に飯野・加久藤・真幸の3村からも出征

3村から約50人が出征し、7人が戦死・戦病死しました。

(参考文献:『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第4節 日清・日露戦争)



まさきこうざん せんてつせいばなたて  
真幸鉱山の鉄製花立

ねん めいじ ねん にしうちたて てつ せいれんじょ けんせつ  
・ 1900年 明治33年 西内堅に鉄の精錬所を建設する

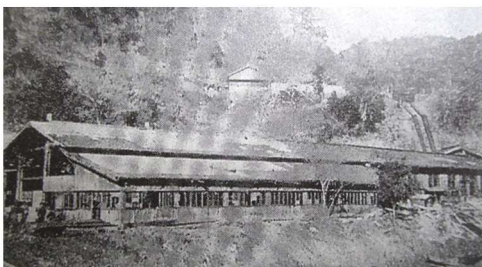
(参考文献:『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第4節 日清・日露戦争)

ねん めいじ ねん にちろせんそう いいの かくどう まさき そん しゅっせい  
・ 1904年 明治38年 日露戦争に飯野・加久藤・真幸の3村からも出征

3村からの従軍者は406人、戦死・戦病死者36人でした。

(参考文献:『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第4節 日清・日露戦争)

ねん めいじ ねん おこびら やま ぼうどうじけん お ほんけんはつ ろうどうそうぎ  
・ 1908年 明治41年 大河平のフランス山で暴動事件起こる(本県初の労働争議)



やまこうじょうぜんけい  
フランス山工場全景

おこびら いしとこ いったい やま じゅれいなんびやくねん きよぼく  
大河平(石床) 一帯の山には樹齢何百年という巨木

みつせい じんけいえい かいしゃ とうよう  
が密生しており、ここにフランス人経営の会社(東洋

せいざい せいざいこうじょう た にほんじんろうどうしや やす  
製材) が製材工場を建てました。日本人労働者は安

ちんぎん ちょうじかん ろうどう けいえいがわ た  
い賃金と長時間の労働で経営側とトラブルが絶えま

せんでした。職工の野添吉之助が2日間無断欠勤で

ちょうかいめんしよく どりよう ふくしよくうんどう  
懲戒免職になったため、同僚たちが復職運動をし

ます。しかし、きよぜつ さむしよ きかい  
を壊し暴動が起きました。これにより全員逮捕され、

こわ ぼうどう お ぜんいんたいほ  
外交問題にまで発展しました。

がいこうもんだい はってん

(参考文献:『史談会誌「えびの」35号』フランス山/『えびの市史 下巻』第7編近代 第1章明治時代 第7節飯野フランス山事件)



とうようせいざいゆふしきがいしや はたら ひとびと  
東洋製材株式会社で働く人々

ねん めいじ ねん みやざきけんないさいしよ えき ま さきえき えいぎょう かいし ひ さつせん  
・ 1911年 明治44年 宮崎県内最初の駅・真幸駅が営業を開始(肥薩線)



ひ さつせん ま さきえき やま きゅうこうはい くかん  
肥薩線にある真幸駅は山の急勾配の区間にあり、

れっしや ぜんしん こうたい お かせ しんこう  
列車が前進・後退して折り返し進行するスイッチバツ

くが設けられています。

(参考文献:『えびの市史 下巻』第7編近代 第2章大正時代 第1節鉄道の開通)

ねん めいじ ねん かくどう じてんしや だい いしや はしゅつじよ やくぼかく だい  
・ 1912年 明治45年 加久藤に自転車3台(医者・派出所・役場各1台)あり

(参考文献:『えびの市歴史年表』)

たいしょうじだい ねん  
大正時代 (1912年～)

ねん たいしょうがねん よしまつ こばやしかん てつどう かいつう きつとせん  
・ 1912年 大正元年 吉松～小林間に鉄道が開通する (吉都線)



たいしょう おちかげ のこ かくとうえき げん えき  
大正の面影を残す加久藤駅 (現えびの駅)

<国登録有形文化財> 撮影：昭和48年(1973)/上谷川則男氏



しょうわ ねん はし  
SLは昭和49年まで走っていました

撮影：昭和48年(1973)/上谷川則男氏

めいじ ねん てつどうこうじ よしまつ はし たいしょうがねん よしまつ  
明治44年 (1889) 鉄道工事は吉松から始められ、大正元年 (1912) には吉松～

こばやしかん かいつう  
小林間が開通しました。(参考文献：『えびの市史 下巻』第7編近代 第2章大正時代 第1節鉄道の開通)

ねん たいしょう ねん かぜ だいいりゆうこう ししや おお  
・ 1918年 大正7年 スペイン風邪が大流行し、死者が多くでる

(参考文献：『えびの市史 下巻』えびの市史年表)

ねん たいしょう すいりょくはつでんじよ ま さきすいりょくでん きかぶしきがいはや えいぎょう かいし  
・ 1918年 大正7年 水力発電所 (真幸水力電気株式会社) 営業を開始する

すいげん やたけすいどう よしだおんせん やく けいこく らっか やたけだき みず りりょう  
水源は矢岳隧道 (トンネル) で、吉田温泉より約4 kmの溪谷に落下する矢岳滝の水を利用

はつでんじよ ちゆう  
して発電所を設けました。(参考文献：『えびの市史 下巻』第7編近代 第2節村政の概要 5 真幸地方の電気事業)

ねん たいしょう でんとう しょうみょうじ にしかわきた てんとう  
・ 1918年 大正7年 電灯が昌明寺と西川北に点灯される



はくねつでんきゅう  
白熱電球

たいしょう ねん しょうみょうじ にしかわきた てんとう よくとし がつ  
大正7年 (1918) に昌明寺と西川北に点灯され、翌年1月に

ま さきしょうがっこう でんとう たいしょう ねん いこう ひ  
真幸小学校に電灯がつけました。大正8年(1919)以降日を

おいのちく かくとうちく てんとうちく ひろ  
おって飯野地区、加久藤地区へと点灯地区は広がっていきま

した。(参考文献：『絵で見るくらしのうつりかわり』)

ねん たいしょう ねん きょうまちふつかいち はじ  
・ 1920年 大正9年 京町二日市が始まる



へいせい ねん がつついたち  
平成26年 (2014) 2月1日  
きょうまちふつかいち ようす  
京町二日市の様子

めいじ たいしょう きょうまち そめちのや みせ  
明治から大正にかけて京町に染物屋があり、店を

おとづ ふじん そめちのいがい いろいろ う  
訪れた婦人たちに染物以外にも色々なものを売り

はんじょう きんじよ しゅうぞうじよ しゅうきん お  
繁昌しました。近所の酒造所では集金を終えた 2

がつ 1・2日にお得意さんを招待し大変にぎわいまし

た。それをみて同じ商店街の店も安売りを始めたの

とお か ものきやく く ふつかいち  
で遠くからも買い物客が来るようになり、二日市

たんじょう  
が誕生しました。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第88/京町二日市の由来」)

ねん しょうわ ねん ばしかなせい  
・1928年 昭和3年 めがね橋完成



めがね橋 (大河平)  
くにとろくゆうけいぶんかざい  
<国登録有形文化財>

くまもとけん おおひらやまこくゆうりん えいりんしよ じぎょうしよ いいのえき ちよ  
熊本県の大平山国有林にある営林署の事業所から飯野駅の貯  
ぼくじょう もくざいはんしゆつ きどうよう つく いしづくり  
木場まで、木材搬出のトロッコ軌道用に造られた、石造の  
さんれん きょう せいしきめいしやう つき きがわばし  
三連アーチ橋です。正式名称を「月の木川橋」といいます。  
きょうちやう きょうこう ふくいん しょうわ ねん  
橋長58.2m、橋高20m、幅員2.3m。昭和37年(1962)

きどう はいし  
軌道は廃止されました。  
(参考文献: 広報えびの「ふるさと散歩 第68 めがね橋」)

ねん しょうわ ねん きりしまやま こくりつこうえん してい  
・1934年 昭和9年 霧島山が国立公園に指定される

きりしま や くこくりつこうえん にほん さいしよ こくりつこうえん  
(霧島屋久国立公園/日本で最初の国立公園)

きりしまかざんたい そく きりしまやま ちゆうしん ちいき きりしまこくりつ  
霧島火山帯に属する霧島山を中心とする地域が霧島国立  
こうえん うんぜん せとないかい くにかいしよ こくりつ  
公園として雲仙、瀬戸内海とともに、わが国最初の国立  
こうえん してい へいせい ねんきりしま や く こくりつこうえん  
公園として指定されました。平成24年霧島屋久国立公園

やくしまちいき どくりつ あら あいら きんこうわん  
から屋久島地域が独立し、新たに始良カルデラの錦江湾  
おくぶ くわ きりしまきんこうわんこくりつこうえん  
奥部などを加え「霧島錦江湾国立公園」となりました。

(参考文献: えびの市史 下巻 第7編近代 第3章昭和時代(戦前) 第1節昭和初期の村政  
/「広報えびの」平成24年(2012)3月号)



からくにだけ  
韓国岳からのながめ

ねん しょうわ ねん たいへいようせんそうはじ しょうわ ねん しゅうせん  
・1941年 昭和16年 太平洋戦争始まる (昭和20年 (1945) 終戦)

しょうわ 20年(1945) がつ か ぐん こうげき ししやうしや へい  
昭和20年(1945)8月10日えびのでもアメリカ軍の攻撃により死傷者がでました。米  
ぐんき じゅうげき いいのえきまえ か くとうしょうがっこう きやうまちえきしや きかんしや みんか こうげき  
軍機による銃撃は、飯野駅前・加久藤小学校・京町駅舎・機関車や民家も攻撃されま

した。(参考文献: 『えびの市ふるさと学習本 中小生のためのえびのと太平洋戦争』

/『えびの市史 下巻 第7編近代 第3章昭和時代(戦前) 第3節日中戦争から太平洋戦争へ)

ねん しょうわ ねん みやざきこうつう いっぱんのりあい うんこう かいし  
・1949年 昭和24年 宮崎交通が一般乗合バスの運行を開始



のりあい しょうわ ねん みやざきこうつう  
乗合バス 昭和25年 宮崎交通

しゅうせんまえ のりあい かず すく もくたん はし  
終戦前の乗合バスの数は少なく「木炭バス」が走っていま  
した。しょうわ ねん みやざきこうつう よしまつ こばやし うんこう  
昭和24年(1949)宮崎交通は吉松から小林の運行  
かいし しょうわ ねん こくてつ よしまつ きやうまちかん  
を開始し、昭和29年(1954)国鉄バスも吉松から京町間  
さんろくせん はし  
の山麓線を走るようになりました。

(参考文献: えびの市史 下巻 第8編現代 第3章産業・経済 第3節交通・通信)

ねん しょうわ ねん ま さきちやうない ふつうじやうようしや だい  
・1952年 昭和27年 真幸町内に普通乗用車2台

ま さきちやうちやうせいほうらん しょうわ ふつうじやうようしや だい  
真幸町町勢要覧によると昭和27年(1952)普通乗用車2台・オートバイ3台・三輪車  
だい こがたじどうしや だい ふつう だい  
8台・小型自動車3台・普通トラック3台とあります。

(参考文献: えびの市史 下巻 第8編現代 第3章産業・経済 第3節交通・通信)



ねん しょうわ ねん ゆうせんほうそう はじ  
・1954年 昭和29年 有線放送が始まる



ゆうせんほうそう  
有線放送のスピーカー

しょうわ ねん いいのちよう かく とうちよう ま さきちよう ゆうせんほうそう はじ  
昭和29年（1954）ごろ、飯野町、加久藤町、真幸町で有線放送が始

ちようないかくこ やくぼ こうほう やくだ  
まりました。町内各戸と役場との広報に役立てていました。

（参考文献：『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節 交通・通信）

ねん しょうわ ねん みやざきけん ほうそうはじ  
・1960年 昭和35年 宮崎県でテレビ放送始まる



しやしん  
写真はカラーテレビ

しよき だいすう しょうわ ねん かく とうちよう だい しょうわ ねん  
初期のテレビ台数は、昭和35年（1960）加久藤町108台、昭和28年

（1963）飯野町890台と少なく、昭和39年（1964）以降八幡丘な

かくちゆうけいきよく かんせい だいすう そうだい  
どに各中継局が完成しテレビ台数は増大しました。

（参考文献：『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節 交通・通信）

ねん しょうわ ねん みやざきけんりついいのこうとうがっこう そうりつ  
・1965年 昭和40年 宮崎県立飯野高等学校 創立

（参考文献：『えびの市史 下巻』えびの市史年表）

ねん しょうわ ねん ちよう いいの かく とう ま さき がっぺい ちよう たんじよう  
・1966年 昭和41年 3町（飯野・加久藤・真幸）が合併 「えびの町」誕生

ちようがっぺい じ じんこう まん ぜんにん しょうわ ねん がっぺんざい  
えびの町合併時の人口は3万3千人（昭和40年（1965）10月現在）で、「えびの」と

ちようめい おうぼ き  
いう町名は応募により決まりました。

（参考文献：えびの市史 下巻』第8編現代 第1章昭和時代（戦後）第3節三町合併えびの町）

ねん しょうわ ねん やたけこうげん けんりつこうえん してい やたけこうげんけんりつし ぜんこうえん  
・1966年 昭和41年 矢岳高原が県立公園に指定（矢岳高原県立自然公園）



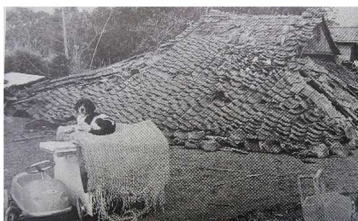
やたけこうげん  
矢岳高原からのながめ

かく とうぼんち きりしまかざんぐん いちぼう やたけこうげん  
加久藤盆地・霧島火山群が一望できます。矢岳高原ベルトン

オートキャンプ場は平成13年（2001）にオープンしまし  
た。

（参考文献：『えびの市史 下巻』えびの市史年表/「広報えびの」平成13年6月号）

ねん しょうわ ねん じしん お  
・1968年 昭和43年 えびの地震が起こる



とうかい じゅうたく  
倒壊した住宅

しょうわ ねん がつ にちしんど きょうしん お  
昭和43年（1968）2月21日震度5.7の強震が起こりまし

た。その後も余震は続き、全壊の家や道路の地割れなど

じんだい ひがい はっせい  
甚大な被害が発生しました。

（参考文献：えびの市史 下巻』資料編 第8編・第1章昭和時代（戦後）第3節えびの地震記）

ねん しょうわ ねん ちようがっこうきゅうしょく かいせつ  
・1969年 昭和44年 えびの町学校給食センター開設

しょうわ ねんど いいのちよう せんとう ぜんしようちゅうがっこう きゅうしょく かいし  
昭和39年度から、飯野町を先頭に全小中学校の給食を開始

しました。昭和44年（1969）3地区（飯野・加久藤・真幸）給食

センターを飯野地区学校給食センターに統合しました。



きゅうしょく はじ ころ ようす  
給食が始まった頃の様子

（参考文献：『飯野町25年のあゆみ 1965』/『えびの市史 下巻』第8編現代 第1章昭和時代（戦後）第2節戦後の復興）

ねん しょうわ ねん し たんじょう  
・ 1970年 昭和45年 「えびの市」誕生

しょうわ ねん (1970) がつ じんこう まん せんにん  
昭和45年(1970)12月の人口は約2万9千人で、

しんちょうしゃ しょうわ ねん かんせい  
新庁舎は昭和49年(1974)に完成しました。

(参考文献:『えびの市史 下巻』第8編現代第2章市制施行)



しょうだい しちょう  
初代えびの市長  
ながさきひろし  
(永崎 公氏)

ねん しょうわ ねん でんぼうでんわきょくかいきょく  
・ 1971年 昭和46年 えびの電報電話局開局、  
しないでんわ しき  
市内電話ダイヤル式となる

(参考文献:『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節 1 交通・通信)



しきでんわき  
ダイヤル式電話機  
しょうわ ねん  
昭和60年(1985)  
ごろまで使用しまし  
た

ねん しょうわ ねん やまつなみはつせい  
・ 1972年 昭和47年 まさき山津波発生



まさきえき どうしゃ りゅうにゅう  
真幸駅にも土砂が流入

しょうわ ねん にしうちたて まさきえきしゅうへん しゅうちゅうごうらう  
昭和47年(1972)西内壱の真幸駅周辺で集中豪雨による

やまつなみ はつせい じゅうたくどう お なが ししゃ ゆくえふめいしゃ  
山津波が発生しました。住宅等押し流し、死者・行方不明者  
を出す大惨事が起こりました。

(参考文献:『史談会誌「えびの」30号』えびの市まさき山津波)

ねん しょうわ ねん し ししょうせい  
・ 1974年 昭和49年 えびの市の市章制定



きりしまやま くも うつくしき ひょうげん さんかくけい いいの かくどう まさき  
霧島山にたなびく雲の美しさを表現した三角形は、飯野、加久藤、真幸  
さんちやう がっぺい い み ふたすじ くも ぜんたい  
三町の合併を意味し、二筋の雲により全体をひらがなの「え」の字に見  
えるようにしてあります。(参考文献:『えびの市史 上巻』口絵)

ねん しょうわ ねん こくどう ごうせん きやう かいつう  
・ 1978年 昭和53年 国道221号線に「えびのループ橋」が開通



えびのループ橋

かくどう ひとよし むす かくどうごえ こだい しゅうよう こう  
加久藤から人吉を結ぶ「加久藤越」は古代から重要な交

つうろ ひと うま とお せま どうろ  
通路でしたが、人や馬が通るくらいの狭い道路でした。

しょうわ ねん かくどう かんせいご ひょうこうさやく  
昭和47年(1972)加久藤トンネルが完成後、標高差約70

mの「えびのループ橋」が開通し、えびの・人吉間は約30

ぶん むす  
分で結ばれました。

(参考文献:『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節 1 交通・通信/『広報えびの縮刷版I』昭和53年(1978)10月号)

ねん しょうわ ねん し き し はな せい  
・ 1978年 昭和53年 市の木「きりしまあかまつ」市の花「えびね」を制定



きりしまあかまつ (マツ科)



えびね (ラン科)

しょうわ ねん せい し じんけんしやう しぜん まち  
昭和48年(1973)制定の市民憲章「自然を守り、

みどりゆた つく しょうし  
緑豊かなまちを作りましょう」の趣旨のもとに

ほしゅう けつか し き し  
募集した結果、市の木は「きりしまあかまつ」市の

はな せい  
花は「えびね」と制定されました。

(参考文献:『広報えびの縮刷版I』昭和53年(1978)12月号)

ねん しょうわ ねん じょうすいどう きゅうすい しな いぜんいき かいし  
・ 1981年 昭和56年 上水道の給水が市内全域に開始される



えびのの上水道は昭和52年(1977)着工、昭和56年(1981)市内全域に給水が開始されました。水源は川内川最上流のクルソン峡又五郎谷です。

(参考文献：『えびの市史 下巻』第8編現代 第2章市制施行 第2節行政機構と議会/『絵で見るくらしのうつりかわり』)

ねん しょうわ ねん りくじょうじえいたい ちゅうとんち ほりうら かいせつ  
・ 1981年 昭和56年 陸上自衛隊えびの駐屯地(堀浦)開設

(参考文献：『えびの市史 下巻』第8編現代 第4章民生 第3節治安・防災・防衛)

へいせいじだい ねん  
平成時代(1989年～)

ねん へいせい ねん しな い えき えきめいかいしょう  
・ 1990年 平成2年 市内4駅 駅名改称

飯野駅→えびの飯野駅 上江駅→えびの上江駅 加久藤駅→えびの駅 京町駅→京町温泉駅

(参考文献：『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節1交通・通信)

ねん 平成 ねん えびの しりつとしょかん れきし じんぞく しりょうかん かいかん  
・ 1994年 平成6年 えびの市立図書館、歴史民俗資料館開館

ねん へいせい ねん きゅうしゅうじゅうかんこうそくじ どうしゃ どうぜんせんかいつう  
・ 1995年 平成7年 九州縦貫高速自動車道全線開通



平成7年(1995)7月27日九州縦貫高速自動車道はえびの～人吉間の開通によって、青森から宮崎・鹿児島までつながりました。

(参考文献：『えびの市史 下巻』第8編現代 第3章産業・経済 第3節1交通・通信

/「広報えびの」平成7年(1995)7月号)

ねん へいせい ねん しな い こうていえき はっせい  
・ 2010年 平成22年 市内で口蹄疫が発生

平成22年(2010)4月20日都農町で1例目が確認され、えびの市においても4月28日に1例目が確認されました。県内では口蹄疫の発生により29万頭もの牛や豚が殺処分されま

した。(参考文献：『史談会誌「えびの」第45号』)

ねん へいせい ねん きりしまやま にほん にんてい  
・ 2010年 平成22年 霧島山が日本ジオパークに認定

「ジオパーク」とは「地球の公園」といった意味です。

霧島山は活火山や火口湖、ミヤマキリシマやノカイド

ウの花など魅力的な自然が豊かです。

(参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第152霧島ジオパーク」)



霧島山

ねん へいせい ねん きりしまやま しんもえだけ ふんか  
・ 2011年 平成23年 霧島山（新燃岳）噴火



しんもえだけふんか  
新燃岳噴火（栗下地区より撮影）

撮影：平成 23 年（2011.1.27）/上谷川則男氏

へいせい ねん がつ にちしんもえだけ ふんか ふんえん たか  
平成23年（2011）1月26日新燃岳が噴火し、噴煙の高さ  
かこう やく たっ ご なんかい ふんか  
は火口から約2000mまで達し、その後も何回かの噴火を  
く かえ こうはい ふんせき ひがい  
繰り返しました。降灰と噴石による被害もでした。

（参考文献：広報えびの「ふるさと散歩 第 151 新燃岳噴火の歴史」）

ねん へいせい ねん みち えき  
・ 2013年 平成25年 「道の駅えびの」オープン



みち えき  
道の駅えびの

しせつ しな い せいさん のうさんぶつ とくさんひん てんじ はんばいじよ  
施設には市内で生産される農産物や特産品の展示・販売所のほ  
か、えびの市の旬の食材を味わえるバイキングレストランなど  
もう  
も設けられました。（参考文献：「広報えびの」2013年4月号）

ねん へいせい ねん いおうやま ふんか  
・ 2018年 平成30年 硫黄山噴火

へいせい ねん がつ にち ねん いおうやま ふんか  
平成30年（2018）4月19日250年ぶりに硫黄山が噴火しました。

がつ にちながえがわ はくたく かくにん すいしつけんさ けっか ながえがわすいけい  
4月21日長江川の白濁が確認され水質検査の結果、長江川水系か  
ら取水することができなくなり稲作などに被害をもたらしまし

た。（参考文献：『史談会誌「えびの」第 53 号』硫黄山噴火から）



はくたく こうげん あかごかわ  
白濁したえびの高原の赤子川

撮影：平成 30 年（2018.4.20）/上谷川則男氏



享保 10 年（1725）建立された中内堅（梅木）にあるえびの市で 2 番目に古い神官型の田の神さあ。

平成 15 年（2003）9 月 11 日、市指定有形文化財に指定。

さくいん  
索引

あ

あかまつ  
赤松 . . . . . 7, 13  
いいの  
飯野 . . . . . 7, 8, 9, 12  
いいの こうとうがっこう  
飯野高等学校 . . . . . 12  
いいの じとうやかた  
飯野地頭館 . . . . . 6  
いいの じょう  
飯野城 . . . . . 5, 6  
いいの せん  
飯野村 . . . . . 9  
いのもりやま  
飯盛山 . . . . . 1  
いおうやま  
硫黄山 . . . . . 15  
いたび  
板碑 . . . . . 5  
いちょう  
銀杏樹 . . . . . 6  
いっばんのりあい  
一般乗合バス . . . . . 11  
いとうぐん  
伊東軍 . . . . . 6  
いなさく  
稲作 . . . . . 2  
えきめいかいしやう  
駅名改称 . . . . . 14  
えのきだ くまぐち ばんしよ  
榎田(求麻口)番所 . . . . . 7  
えびのし . . . . . 13  
えびのししやう  
えびの市章 . . . . . 13  
えびのしみんとしよかん  
えびの市民図書館 . . . . . 14  
えびのしれきしみんぞくしりやうかん  
えびの市歴史民俗資料館 . . . . . 14  
えびのじしん  
えびの地震 . . . . . 12  
えびのちやう  
えびの町 . . . . . 12  
えびの でんぽうでんわきやうく  
えびの電報電話局 . . . . . 13  
えびね . . . . . 13  
えびのループきやう  
橋 . . . . . 13  
おこびら  
大河平 . . . . . 9

か

かくとう  
加久藤 . . . . . 7, 8, 9, 12  
かくとう  
加久藤カルデラ . . . . . 1  
かくとうじやう  
加久藤城 . . . . . 6  
かくとうとうげ  
加久藤峠 . . . . . 7  
かくとう  
加久藤トンネル . . . . . 13  
かくとうせん  
加久藤村 . . . . . 9

かくとうゆうびんやくしよ ゆうびんきやうく  
加久藤郵便役所(郵便局) . . . . . 8  
かざと  
風戸 . . . . . 8  
かべんじやうじゆうきよあと  
花弁状住居跡 . . . . . 2  
からくにだけ  
韓国岳 . . . . . 1  
かわきたむら ひがしかわきた  
川北村(東川北) . . . . . 5  
きさきばるがっせん  
木崎原合戦 . . . . . 6  
きはらはかぬき  
北原兼幸 . . . . . 5  
きつとせん  
吉都線 . . . . . 10  
きゆうしゆうじゆうかんこうそくじどうしやどう  
九州縦貫高速自動車道 . . . . . 14  
ごうこう  
郷校 . . . . . 8  
きゆうしよく  
給食センター . . . . . 12  
きやうほうすいろ  
享保水路 . . . . . 7  
きやうまち ふつかいち  
京町 二日市 . . . . . 10  
きりしまあかまつ . . . . . 13  
きりしまやま  
霧島山 . . . . . 14, 15  
きりしまや くこくりつこうえん  
霧島屋久国立公園 . . . . . 11  
くりのだけ  
栗野岳 . . . . . 1  
くやうひ  
供養碑 . . . . . 6  
こうていえき  
口蹄疫 . . . . . 14  
こうりやう  
虹梁 . . . . . 7  
こだいじん  
古代人 . . . . . 1  
こふん  
古墳 . . . . . 3

さ

さいごうたかもり  
西郷隆盛 . . . . . 8  
さつまはん  
薩摩藩 . . . . . 6, 8  
しか ゆ  
鹿の湯 . . . . . 6  
じてんしゃ  
自転車 . . . . . 9  
じとうかりや  
地頭仮屋 . . . . . 8  
しまづいえひさ ただつね  
島津家久(忠恒) . . . . . 6  
しまづぐん  
島津軍 . . . . . 6  
しまづただひら よしひろ  
島津忠平(義弘) . . . . . 6  
しゅりやうさいしゆう  
狩猟採集 . . . . . 1

|             |        |     |
|-------------|--------|-----|
| じょうすいどう     | 上水道    | 14  |
| しらとりおんせん    | 白鳥温泉   | 8   |
| しらとりやま      | 白鳥山    | 1,7 |
| しんぶつぶんりれい   | 神仏分離令  | 8   |
| しんもえだけ      | 新燃岳    | 15  |
| すいりょくはつてんしよ | 水力発電所  | 10  |
| スペイン        | スペイン風邪 | 10  |
| せいなんせんそう    | 西南戦争   | 8   |
| せんだいがわ      | 川内川    | 2,7 |

た

|             |        |    |
|-------------|--------|----|
| たいへいようせんそう  | 太平洋戦争  | 11 |
| たてあなじゆうきよあと | 竪穴住居跡  | 2  |
| た かみせきぞう    | 田の神石像  | 7  |
| ちかしきよこあなほ   | 地下式横穴墓 | 3  |
| つるひさまる      | 鶴寿丸    | 6  |
| てつ せいれんじよ   | 鉄の精錬所  | 9  |
| てれびほうそう     | テレビ放送  | 12 |
| でんとう        | 電灯     | 10 |
| どうほんいせき     | 堂本井堰   | 7  |
| どき          | 土器     | 2  |

な

|                |          |    |
|----------------|----------|----|
| ナイフ            | 形石器      | 1  |
| ナウマンゾウ         |          | 1  |
| な らとうだいじだいぶつてん | 奈良東大寺大仏殿 | 7  |
| にっしんせんそう       | 日清戦争     | 9  |
| にちろせんそう        | 日露戦争     | 9  |
| にほん            | 日本ジオパーク  | 14 |

は

|          |      |   |
|----------|------|---|
| はいぶつきしゃく | 廃仏毀釈 | 8 |
| ひこやまでら   | 彦山寺  | 5 |
| ひ さつせん   | 肥薩線  | 9 |

|            |       |    |
|------------|-------|----|
| ふつうじょうようしゃ | 普通乗用車 | 11 |
| フランス       | 山     | 9  |

ま

|                    |            |          |
|--------------------|------------|----------|
| まさき                | 真幸         | 7,8,9,12 |
| まさきいん              | 真幸院        | 5        |
| まさきいんし             | 真幸院司       | 5        |
| まさきえき              | 真砥駅        | 4        |
| まさきえき              | 真幸駅        | 9        |
| まさきごう              | 真幸郷        | 8        |
| まさきすいりょくてんきかぶしがいしゃ | 真幸水力電気株式会社 | 10       |
| まさきそん              | 真幸村        | 9        |
| まさき やまつなみ          | まさき山津波     | 13       |
| まつおじょう             | 松尾城        | 6        |
| まのがたごう             | 馬関田郷       | 8        |
| まのがたしやう            | 馬関田庄       | 5        |
| みち えき              | 道の駅えびの     | 15       |
| みやざきけん             | 宮崎県        | 8        |
| みやざきこうつう           | 宮崎交通       | 11       |
| めがねはし              | めがね橋       | 11       |

や

|                    |            |    |
|--------------------|------------|----|
| やたけこうげんけんりつしぜんこうえん | 矢岳高原県立自然公園 | 12 |
| ゆうせんほうそう           | 有線放送       | 12 |
| ゆ ごんげんしゃ           | 湯権現社       | 6  |
| よしだおんせん            | 吉田温泉       | 6  |
| よしだごう              | 吉田郷        | 8  |
| よしだしやう             | 吉田庄        | 5  |

ら

|            |             |    |
|------------|-------------|----|
| りくじょうじえいたい | 陸上自衛隊えびの駐屯地 | 14 |
|------------|-------------|----|

| 参考文献   |   |                          |                       |
|--|---|--------------------------|-----------------------|
| 資料名  | 発行年   | 著者・编者                    | 出版社・発行所など             |
| えびの市史 上巻   | 平成6年(1994)3月  | えびの市郷土史編さん委員会            | えびの市 市長 松形良正          |
| えびの市史 下巻   | 平成10年(1998)3月   | えびの市郷土史編さん委員会            | えびの市 市長 松形良正          |
| えびの市史 資料集Ⅱ<br>飯野郷土史 仏教編  | 平成3年(1991)12月   | 福永勝美                     | えびの市 市長 松形良正          |
| 飯野町郷土史   | 昭和41年(1966)11月  | 西諸県郡飯野町役場                | 飯野町長 中間俊範             |
| 加久藤町郷土誌  | 昭和40年(1965)2月   | 加久藤町郷土誌編纂委員会<br>西諸県郡加久藤町 | 町長 大牟田均               |
| 真幸町郷土史   | 昭和29年(1954)4月   | 西諸県郡<br>真幸町役場総務課統計係      | 西諸県郡<br>真幸町役場総務課統計係   |
| 飯野町25年 のあゆみ  | 昭和40年(1965)12月  | 西諸県郡飯野町役場 企画室            | 飯野町長 中間俊範             |
| えびの市歴史年表   | 昭和57年(1982)8月   | 迫田秀俊                     | 迫田秀俊                  |
| えびの市の文化財   | 平成25年(2013)3月   | えびの市教育委員会                | えびの市教育委員会             |
| 宮崎県の歴史 県史45  | 平成11年(1999)9月   | 坂上康俊(他)                  | 山川出版社                 |
| 鹿児島県の歴史 県史46   | 平成11年(1999)8月   | 原口泉(他)                   | 山川出版社                 |
| 宮崎の田の神像  | 平成9年(1997)2月  | 青山幹雄                     | 鉦脈社                   |
| 絵でみる 暮らしのうつりかわり  | 平成12年(2000)10月  | 平喜志男・押領司勲<br>西園安雄        | えびのロータリークラブ           |
| ふるさと学習本<br>中小生のための太平洋戦争  | 平成21年(2009)8月   | 市田寛幸                     | えびの市民図書館              |
| 広報えびの縮刷版Ⅰ<br>昭和53年(1978)10、12月号  | 平成2年(1990)12月   | 市制施行二十周年記念事業<br>実行委員会    | 市制施行二十周年記念事業<br>実行委員会 |
| 広報えびの  | 平成7年(1995)7月<br>平成13年(2001)6月<br>平成24年(2012)3月<br>平成25年(2013)4月 | えびの市役所                   | えびの市役所                |
| えびの市埋蔵文化財調査報告書 第1集<br>『えびの市遺跡詳細分布調査報告書』<br>1985                          | 1985年(昭和60年)  | えびの市教育委員会                | えびの市教育委員会             |
| えびの市埋蔵文化財調査報告書 第41集<br>『東川北地区遺跡群』  | 2005年(平成17年)  | えびの市教育委員会                | えびの市教育委員会             |
| 「平成29年度発掘調査」<br>えびの市官道跡  | 平成29年(2017)   | (調査担当者)<br>中野和浩          |                       |
| 『九州南部における古墳時代鉄器<br>の基礎的研究』2014   | 平成26年(2014)8月   | 橋本達也                     | 鹿児島大学総合研究博物館          |
| 史談会誌「えびの」<br>第13.30.35.42.45.46.53号                                      | 各号に発行年記載  | えびの史談会                   | えびの史談会                |
| ふるさと散歩 No.13.18.25.29.43<br>55.57.68.86.88.97.101.106.127<br>151.152.153 | 各号に発行年記載  | えびの市役所(広報えびの)            | えびの市役所                |
| えびの市歴史民俗資料館 館内展示資料   |   |                          |                       |



しょうわ ねん し たんじょう  
昭和45年（1970）「えびの市」誕生

発行/2022年8月

Facebook



Twitter



し れ き し み ん ぞ く し り ょう か ん  
**えびの市歴史民俗資料館**

〒889-4311 宮崎県えびの市大字大明司2146-2 TEL/FAX 0984-35-3144